



薙刀 Twe~et COUNTDOWN!!!

VOL.2

なぎなたとはどのような競技なのか？
来年開催される国体まで毎月紹介しています！！

●問合せ先 生涯学習課国体推進室 ☎内線310、311

今回は「なぎなた」がどのような競技なのか Q&A で紹介します。

Q. 「なぎなた（薙刀）」ってどんなもの？

A. 日本の伝統的な武器の一つです。

源義経の家来として活躍した、弁慶が持っていた武器がなぎなたです。

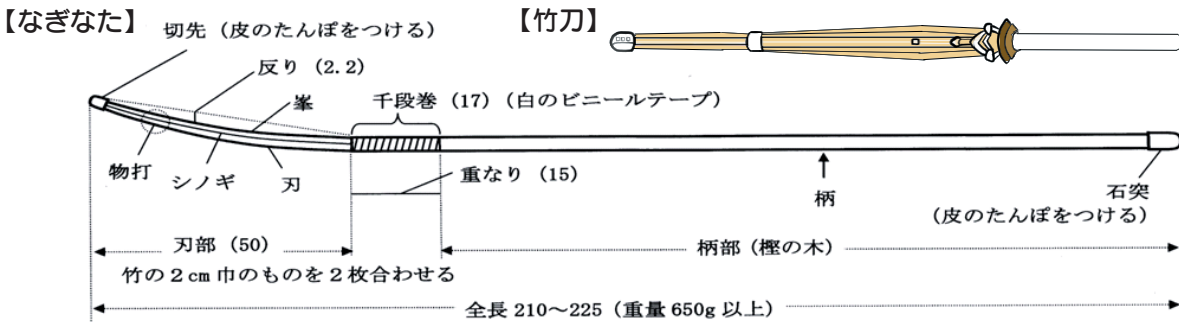
もともとは騎乗の戦士をなぎ払う歩兵に用いられていました。鉄砲が16世紀半ばに伝来し、戦闘方法が著しく変化したことにより、なぎなたは、江戸時代に入ると武士の装飾的な武器あるいはその子女の護身用として用いられるようになりました。当時、なぎなたは武家に嫁ぐ際の嫁入り道具の一つでした。

なぎなたの競技者が主に女性であるのには、そういった歴史がある訳ですが、現在では男性の競技者も増え、また世界なぎなた選手権大会が行われるなど、広がりを見せています。

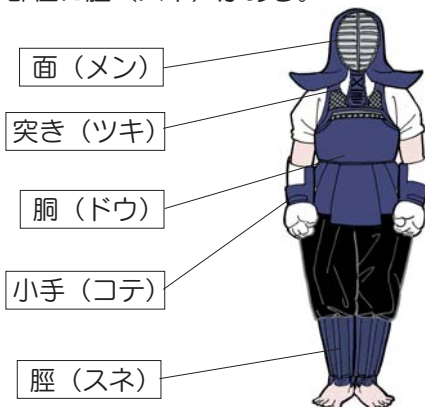
Q. なぎなた競技の特徴って何？

A. 剣道と似ているので、よく比べられますが・・・

①竹刀よりなぎなたの方が長く、竹刀は120cm以下ですが、なぎなたは210～225cmあります。

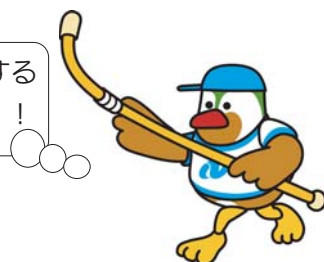


②打突（技）部位に脛（スネ）がある。



脛（スネ）は、武器が長いので打突できる部位です。試合では、脛への打突で一本が入る事が多いです。突きは安全面を考慮して、高校生まではありません。（大学生・社会人ではあります。）

長い武器で試合をするので迫力があるよ！！





Q. なぎなた競技の種目は何種類ありますか？

A. 「試合競技」と「演技競技」の2種類があります。

・試合競技

防具を身に着け、定められた部位を互いに打突して勝負を競います。
部位には面部、咽喉部、胸部、小手部、脛部があります。

・演技競技

防具を身に着けず、指定された形を対人で行ってその技を競います。
国体では「しかけ・応じ」8本の中から3本を2人1組の演技者によって行います。



★イベントでなぎなたを披露&国体をPRしました★

松浦おさかなまつり（10月12日）

市内の小中学生11人で活躍している松浦なぎなたクラブが出演。なぎなたの技の紹介や、音楽に合わせてなぎなたを演舞するリズムなぎなたの披露など、多くのお客さんの前で堂々と披露しました。



松浦水軍まつり（10月26日・27日）

26日は松浦なぎなたクラブが技の紹介や演技競技・試合競技の模擬試合の披露とリズムなぎなたで、会場を盛り上げました。

27日には松浦高校なぎなた部が出演。高校生らしい凛としたキレのあるリズムなぎなたに、会場からは大きな拍手とアンコールが起こり、松浦高校なぎなた部の技の美しさを見せました。



長崎がんばらば国体をいっしょに盛り上げていきましょう!!
次回は、なぎなたの演技競技について、詳しく紹介します。